

防災マップを ご確認ください!

災害からあなたと家族を守る

命の パスポート

シリーズ166

事前に必ず、防災マップでハザードエリア※を確認し、いざというときの行動として、「避難所に行く」ほうが安全か、「家にいる」ほうが安全かを確認しておいてください。

なお、お手元に防災マップがない場合は、市役所本館1階窓口課、豊川・止々呂美支所でお渡しします。

また、市内の「防災」「公共施設」「道路」「水道」に関するさまざまな情報を閲覧できる地図情報サイト「みのおマップ」(QRコード)でも、防災マップをご覧いただけます。

※ハザードエリアとは、土砂災害または浸水害が発生する恐れのある区域のことで、府が調査を行い指定するものです。土砂災害はレッドゾーン・ハイスクリエリア・イエローゾーンに、浸水害は危険度1〜3に分類されます。

地図情報サイト
「みのおマップ」
はコチラ!



あなたのお家は
どちらが安全?
「避難所に行く」?
「家にいる」?

3つのステップでカクニン! 防災マップの見方

土砂災害

ハザードエリアの例

ステップ 1

防災マップで、ご自宅がある場所の“色”を確認する。

レッドゾーンでは家の構造に関わらず避難所に避難!

ハイスクリエリアで平屋建ての場合は避難所に避難!

外に出ちゃダメ!

ハザードエリアの屋外は、最も危険な場所です。

ステップ 2

ご自宅がある場所の“色”と、家の構造に応じて、とるべき避難行動(「避難所に避難」または「屋内で安全確保」)を確認する。

レッドゾーン

家屋が倒壊する危険があるエリア



避難所に避難

- 暗くなる前に
- 風雨が強くなる前に避難所に行ってください。

ハイスクリエリア

1階窓から土砂が流れ込む危険があるエリア



2.5m

平屋建て

1階窓から土砂が流れ込む危険があるエリア



2.5m

2階建て以上

イエローゾーン

床下まで土砂がくる危険があるエリア



0.5m

屋内で安全確保 (2階以上)

外出せず、2階以上で、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください。

屋内で安全確保

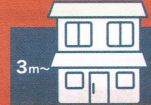
外出せず、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください。

浸水害

ハザードエリアの例

危険度 3

2階まで浸水する危険があるエリア



床上浸水の危険があるエリア



3m

平屋建て

床上浸水の危険があるエリア



3m

2階建て以上

危険度 2

危険度3では家の構造に関わらず避難所に避難!

危険度2で平屋建ての場合は避難所に避難!

外に出ちゃダメ!

ハザードエリアの屋外は、最も危険な場所です。

ステップ 3

避難行動が「避難所に避難」だった場合は、市から発令する避難情報と、避難所へ移動するタイミングを確認する。

※ハザードエリア外にお住まいのかたは、不要不急の外出はせず、家の中にいてください。

市から「高齢者等避難」が発令されたら…

「避難所に避難」の対象の世帯では

- 高齢者、障害者及び付き添いのかた、小さな子ども連れのかたなどは、**すぐに避難所に避難してください。**
- 通常の避難行動ができるかたは、避難の準備をしてください(「避難指示」の発令で避難を開始)。

※「屋内で安全確保」の対象のかたも、「ハザードエリア外」にお住まいのかたも避難所へ避難することができます。「一人で家にいると不安」などの理由でも、遠慮なく避難所へお越しください。